

第 2 8 9 回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

日時：令和 7 年 8 月 25 日（月）16 時 50 分～16 時 57 分

方法：Web 会議

○司会 ただいまから郵政民営化委員会、山内委員長によります記者会見を行います。

本日もオンライン形式の会見とさせていただきます。恐縮ではございますが、マイクのほうは基本的にミュートにさせていただき、御発言の際のみミュートを解除していただければと思います。御協力をよろしくお願いいたします。

会見の進め方ですが、冒頭、山内委員長から御発言をいただき、その後、質疑応答とさせていただきます。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

○山内委員長 郵政民営化委員会委員長の山内でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について御説明申し上げたいと思います。

なお、資料はお配りしているとおりでございます。

本日は、日本郵政グループから、日本郵政グループの2026年3月期第1四半期決算等について、日本郵便株式会社から、日本郵便株式会社の業務区分別収支及び郵政事業の収支の状況等について、それぞれヒアリングを行いました。さらに、自動二輪車の点呼状況に関する調査結果について、日本郵便株式会社からヒアリングを行ったということでございます。

議事の内容については、配付資料を御確認いただければと思います。

まず、日本郵政グループの2026年3月期第1四半期の決算状況についてであります。内容は資料のとおりです。

主な質疑ですけれども、1つ大きな点でありまして、トナミグループの買収というのがございます。トナミグループの子会社化について日本郵便の郵便・物流セグメントの収益への影響はどうかという御質問がありました。

これに対して会社側から、グループの単体の数字は公表していないけれども、トナミはもともと黒字会社であり、収益に貢献しているという御回答をいただいたところであります。

次に、日本郵便株式会社の業務区分別収支及び郵便事業の収支の状況等についてであります。

これについての質疑ですけれども、国際郵便について、今後、海外のE C (eコマース) が伸びてくると思うけれども、その需要を取り込むための取組を伺いたいという質問が委員からございました。

これに対して日本郵便からのお答えですけれども、越境E C の分野は可能性がある分野

だと認識している。そして、ゆうパケットパフと呼ばれる安価なサービスを越境E Cの事業者向けにも導入している。そして、今後、さらにしっかり検討してまいりたいという御回答をいただいたところであります。

それから、第3の議題です。自動二輪車の点呼状況に関する調査結果についてということでありました。これについては、再発防止策について既に四輪についても始まっており、現在は違反がないということだけれども、本部へ上がってくるものは全くないという認識でいいのかという御質問がありました。

これについて日本郵便からのお答えですけれども、四輪の75%、二輪の57%に不備があるという状況からのスタートだったが、4月からデジタルも用いつつ確実な点呼に努めてきた。当初はケアレスミスなどが散見された時期もあったが、本社、支社ともに対策本部を立ち上げてPDCAサイクルを回しており、現在は改善をしてきているということ。そして、今後、デジタル点呼の導入によりましてログを残して、点呼に不備があればアラートが立つなどの仕組みを通じてこれに取り組んでいくというお答えをいただいたところであります。

以上が議事の内容でございまして、次回の委員会の開催については未定ということでございます。

私からの説明は以上でございます。

○司会 委員長、ありがとうございました。

それでは、質問をお受けいたします。

御質問のある方は、御発声、または挙手ボタンでお知らせください。

それでは、郵湧新報の園田さん、お願いします。

○記者 郵湧新報の園田です。お世話になります。

業務区分別収支で、ユニバのかかる3事業とも全部赤字になったのは民営化以降初めてということだったと思うのですけれども、それに対しての今後の対策的なところというのを委員長の側から見てどのようにお考えでいらっしゃいますでしょうか。

○山内委員長 昨年、料金値上げをしたということでありまして、その影響というのは徐々に出てきておるところです。数年でまたその影響が出てくるということだと思っております。ただ、今回の不祥事等もあり、それについての影響も懸念されるところであります。当然、引き続きその改善に向けた努力を期待するところであります。

当委員会としては、これからも同社の業務運営の実情とかそういったところをしっかりと把握して、必要に応じて意見を述べていきたいと思っております。

○記者 ありがとうございました。

○司会 ほかに御質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、以上で会見を終了させていただきたいと思います。

山内委員長、御出席の皆様、どうもありがとうございました。

○山内委員長 どうもありがとうございました。

以上